



地震に備える

日頃から備えを

地震は、家屋の倒壊など直接の被害と共に、電気や水道など、日常の生活を支えるライフラインが被害を受けることによって、生活に大きな影響をあたえます。

南部町では、災害時の応急対策のため、緊急用の食料、生活必需品の備蓄、給水車の配置などを行っています。町全体が被害を受けた場合は、一度に対応できる範囲や件数は限られています。

各ご家庭でも万一の場合に備えて、懐中電灯、カセットボンベ式コンロ、携帯ラジオ、3日分程度の食料と飲料水、救急用品などを準備しておき、置き場所をみんなで確認しておきましょう。

避難場所の確認

避難する時は、各々が慌てて避難せず、「火は大丈夫ですか」「けが人はいませんか」と隣近所や自主防災組織の人たちと安全を確認しあって避難をしてください。避難場所は、地域によって決められています。いざという時の避難場所や経路を防災マップで確認しておきましょう。

また、警察官、消防隊員、防災行政無線などを通じて避難の指示が出された場合は、指示に従って行動してください。

家族との連絡方法

地震は家族と離ればなれの時に起こるかもしれません。

地震発生直後は、しばらくの間一般電話や携帯電話での通話が規制され、しばしば連絡が遮断されます。家族と離れている時、はぐれてしまった時のための連絡方法や集合場所を、普段から家族で話し合っておきましょう。

また、自分の安否を伝える方法

家の中の安全

ある日、突然起こる地震。ただ不安に思っているだけでは何の解決にもなりません。いつ起こるか分からないからこそ、日頃の備えが必要です。自分や家族を守るために、知っておくべきことをあらかじめ確認しておきましょう。

家の中には地震が起こると危険なものがたくさんあります。阪神・淡路大震災で亡くなった人の大半は、建物の倒壊や家具の転倒によるものでした。

いつもは重くて動かない冷蔵庫やタンスも、ひとたび地震が起こると、簡単に家具が倒れ、照明や額などいろいろなものが落ちてきます。これによって怪我を負ったり、消火活動などが阻害される場合もあります。

わが家がかもしも強い地震にみまわれたらどうなるのか、身の回りの点検を試してみましょう。全ての家具を固定することは困難ですが、食器棚、タンス、本棚などが

として、「災害用伝言ダイヤル」などのサービスがあります。

災害によって電話が繋がりにくい状況になると、声で伝言の登録ができる「災害用伝言ダイヤル」や、携帯電話を使って安否状況の確認ができる「災害用伝言板サービス」の提供が開始されます。

これらのサービスは、1月1日を除く毎月1日に体験利用ができますので、スムーズに利用できるようお試しくください。

型のもの、冷蔵庫やピアノなど重量のあるものだけでも転倒防止をし、落ちると危険な物は棚や家具の上に置かないようにしましょう。特に就寝中は無防備な状態になります。家具の固定が難しい場合は、寝ている場所に倒れない方向や位置に家具を移動するなど、できるだけ安全な方法を考えましょう。

家具類転倒防止器具の種類と効果

震度		5強	6強
単体使用	器具なし	揺れる	転倒
	L型金具	効果がある	大きく揺れる
	ベルト式動	揺れる	家具移動
	ポール式	効果がある	家具移動
	ストッパー式	揺れる	転倒
併用	マット式	揺れる	転倒
	ポール式+ストッパー式	効果がある	揺れる

東京消防庁による実験結果 (平成16年実施)

緊急地震速報を利用してまずは身の安全の確保を

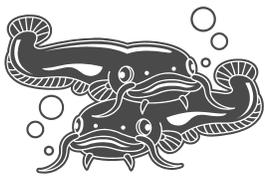
南部町では、10月1日から、防災行政無線を使った「緊急地震速報」の運用が開始されます。

緊急地震速報は、震源に近い観測点が検知した地震を解析して、瞬時に震源の位置や地震の大きさ、予想される震度を推定できるシステムです。

ただし、緊急地震速報は、情報の提供から大きな揺れが始まるまでの時間が長い場合でも数十秒程度と短く、震源が近いところでは情報が間に合わない場合があることや、まれにノイズ(雷や事故など)によって誤報が発信される恐れがあり、万全な情報ではありません。しかし、近年心配されている南海地震には有効と考えられる日頃の地震対策とあわせることで効果が発揮できます。10月6日に行われる防災訓練でも緊急地震速報を想定した訓練を予定しています。速報を聞いたらどう行動すればよいか、事前に考えておきましょう。(詳しくは4頁参照)

地震に備える



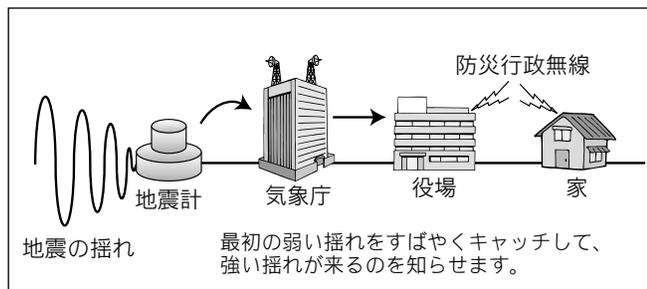


10月1日から 緊急地震速報が始まります

南部町では、気象庁が発表する「緊急地震速報」を活用し、震度4以上の揺れが予想される場合、強い揺れが始まる数秒から数十秒前に防災無線で強い揺れが起こることをお知らせします。

どうやって情報が配信されるの？

気象庁から緊急地震速報が発せられ、震度4以上の揺れが発生すると推定された場合、南部町では防災行政無線を通じて速報を配信します。速報は、警報音と音声の流れます。



また、NHKのテレビ・ラジオでも緊急地震速報が配信されます。

必ず起こる前に知ることができるの？

緊急地震速報は、強い地震が始まる前に情報を知ることができますが、震源に近いところでは通報が間に合わない場合もあります。

また、地震の推計の精度が十分でない場合があること、雷等により誤報が発生するおそれもあります。

ポイント！

- ・ 防災無線の起動までに時間を要しますので、震源が200km以上離れている場合でないと効果が期待できません。
- ・ 高い確率で発生するといわれる南海・東南海地震には効果があると考えられます。
- ・ 現在の技術では雷などの雑音で誤作動することが避けられません。

速報を聞いたらどうすればいいの？

速報を聞いたらず、強い揺れに備えて速やかに安全を確保しましょう。

○ 家庭では

- ・ 大きな家具から離れ、頭を保護して丈夫な机の下などに隠れる
- ・ あわてて外に飛び出さない



○ 屋外では

- ・ ブロック塀や自動販売機などの側から離れる
- ・ 看板や割れたガラスの落下に注意する

○ 人の多い施設では

- ・ あわてて出口に走り出さない
- ・ 吊り下げられている照明などの下から逃げる

○ 山やがけ付近では

- ・ 落石やがけ崩れに注意

○ 自動車運転中は

- ・ あわててブレーキをかけない
- ・ ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくりと停止する

緊急地震速報に関するお問い合わせ先

南部町役場総務課 電話：0859-66-3112

気象庁 電話：03-3212-8341 <http://www.seisvol.kishou.go.jp/ep/EEW/kaisetsu/index.html>